

竹取物語における〈文化の越境〉

齋藤正志*

要旨

日本の古典文学は、その内実にメイン・カルチャー的な性質とサブ・カルチャー的な性質とを、もともと抱えている。というのは、元来、模範とされた舶来の古代中国文化の精華であった「漢詩文」に対する日本独自の文化的営為として、「和歌」や「和文」が存在していたからである。その意味では、日本の古典は、自ずからメイン・カルチャーの漢詩文に対するサブ・カルチャーだったと言えよう。

とはいえ、その日本国内においても、「物語文学」は「漢詩・和歌」というメイン・カルチャーに対するサブ・カルチャーとして出現し、その現存最古の作品が竹取物語である。この作品は、説話化され、お伽噺化され、近代には歌劇化され、映画化され、最近はアニメ化されてもいる。つまり、解釈による変容の過程が、そのまま〈文化の越境〉だったのであり、その意味で広義の文化翻訳を続けられてきた代表的存在と言い得るに相違ない。

今回の論文では竹取物語において、アニメーションなどとの関係を主軸に、広義の文化翻訳の現況を瞥見したのである。

キーワード：和歌、物語、説話、注釈、アニメーション

* 中国文化大学外国語文学部日本語文学科専任准教授

竹取物語之〈文化越境〉

齋藤正志*

摘要

日本的古典文學原本就內含著主流文化的性質與次文化的性質。之所以會如此說，是因為相對於原本被視為模範的舶來品=古代中國文化精華的「漢詩文」，日本存在著「和歌」「和文」等日本獨自的文化產品。在此意義上，日本的古典，可說是相對於主流文化漢詩文的一種次文化。

雖說如此，在日本國內，相對於「漢詩・和歌」這種主流文化，「物語文學」可說是以次文化的姿態出現，而現存最古老的作品即是竹取物語。而此作品被「說話化」，又被「御伽噺化」，近代則被歌劇化、電影化，最近則被改編成動畫，或是脫胎換骨成為現代小說。也就是說，因解釋而產生的變容過程，同樣也是〈文化越境〉，在此意義上，竹取物語可說是被廣義的文化持續翻譯的代表性存在。

此次論文將以竹取物語為中心，並以動畫等的關係為主軸，窺探廣義的文化翻譯的現況。

關鍵詞：和歌、故事、說話、註釋、動畫

* 中國文化大學外國語文學院日本語文學系專任副教授

A Study of 〈Crossing the border of the culture〉 In *Taketori-Monogatari*

Saito, Masashi*

Abstract

Japanese classical literature holds two sides culture-like nature originally soon, one is main, the other is sub culture. This began to import culture from ancient China, Chinese culture and Chinese verse (poem) meant main culture, Japanese and Japanese verse Waka meant sub culture conversely.

By the way, we recognize verse as main and prose as sub culture in literature. So, Japanese verse Waka is main, the other, story or tale or narrative is all sub culture. Because Japanese classical literature holds two sides culture like this.

The oldest tale in Japan *Taketori-Monogatari* remade for children's story, opera, movies, animations. This tale has all the appearance of crossing in all directions. To say in other words, remaking the literary works for another culture shows cultural translation. *Taketori-Monogatari* is continued cultural translation now.

Keywords: Waka (31-syllable Japanese poem), narrative, tale, annotation, animation

* Associate Professor of the Department of Japanese Language and Literature, Private Chinese Culture University